

各 位

上場会社名 FCM株式会社
 代表者 代表取締役社長 市居 律雄
 (コード番号 5758)
 問合せ先責任者 管理部長 丸山 仁
 (TEL 06-6975-1324)
 親会社 古河電気工業株式会社
 代表取締役 柴田 光義
 (コード番号 5801)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 4 月 30 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成 27 年 3 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1 株当たり 四半期純利益 |
|---|-------|------|-------|--------|------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 9,100 | 70 | 70 | 45 | 26.41 |
| 今回修正予想(B) | 9,600 | 130 | 150 | 90 | 52.82 |
| 増減額(B-A) | 500 | 60 | 80 | 45 | |
| 増減率(%) | 5.5 | 85.7 | 114.3 | 100.0 | |
| (ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期) | 8,580 | 33 | 49 | 18 | 10.68 |

修正の理由

当第 1 四半期累計期間においては、電気機能線材事業では建設・電販向けなど従来からの主力製品は低調でしたが、平角・異型線が順調に売り上げを伸ばしました。高付加価値製品の増大もあり、当セグメントは当初の見込み通りに推移しております。一方の電子機能材事業では、自動車及びパワーモジュール関連は計画通りの推移となっておりますが、民生関連の一部案件が前倒しで進んでおります。特にスマートフォンの新機種採用に向けた動きが活発で、大口事案の計画前倒しが業績押し上げの要因となっております。

以上の結果、平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間では売上高、利益とも業績予想値を上回る見込みとなりましたので、上記のとおり業績予想を修正いたします。

以 上